



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番

(公) 043 (222) 7207 番

※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.6.1 No. 3600

三里塚闘争は全人民の未来の闘い

『シンポ提言』粉砕の確信つかんだ5・24現地集会！

全参加者の胸を解同アッピール

五月二四日、三里塚現地全国総決起集会が反対同盟所有地において開催された。

集会は、冒頭、北原事務局長の基調提起(要旨別掲)、続いて、「学識者・隅谷調査団は、政府側の人である。絶対空港は作らせない。『提言』を粉砕しよう！今日日本が再度、侵略戦争へ進もうとしている。闘う人民こそがこれを粉砕できる」という、「シンポ提言」粉砕闘争報告を鈴木幸司

氏より受けた。

特別報告では、動労千葉田中書記長が登壇し、三里塚を闘う労働運動が時代を切り拓く本流とならなければならないこと。そして国鉄闘争勝利へ向けた決意が述べられた。(要旨別掲)

その後、反対同盟からの決意表明(別掲)、住民団体決意表明と続き、全体が日々勝利する三里塚勢力の確信をつかんだのである。とりわけ、解放同盟全

国連より発せられた、「解同中央の狭山差別裁判―石川氏仮釈放路線を徹底的に糾弾する。五月三十一日の茨城県連結成には全国から結集してほしい」というアッピールは全参加者の胸を強く揺さぶった。

われわれ動労千葉は、車の両輪である反対同盟とのきずなをより強固にし、嵐の時代を切り拓く原動力とならなければならない。今それが最も求められている。

(北原事務局長基調要旨)

「今日の集会は重大な意味がある。公開シンポには中身がない。二六年の闘いを続けている中で、三里塚の闘いは全人民の未来のための闘いという位置を得た。PKO法案は既成野党の屈服により、強行採決されようとしている。断じて粉砕しなければならぬ。若者を戦場に送るな！そして沖縄から米軍基地をなくそう！反戦・反核をみなさんと共に闘う！」



(反対同盟敷地内・市東東市氏)

「敷地内の人と連帯し、みなさんと共に最後まで闘う！」

(婦人行動隊・郡司とめさん)

「二六年間の闘いを無駄にしないために、最後まで闘う！」



大結集勝ちとった 労組交流センターの総括集会

三里塚闘争が光り輝くとき、反合運転保安闘う動労再建へ

(動労千葉田中書記長挨拶要旨)

『三里塚闘争が光り輝く時代になった。ソ連の崩壊があり、アジアのタイ・フィリピンで労働者の闘いが始まっている。歴史の変動が始まったのだ。三里塚闘争の勝利に向け、労働者・人民を結集させ、自らの力で権力に立ち向かおう。社会党・「連合」の屈服を糾弾し、アジア人民と連帯して、自衛隊の海外派兵を絶対阻止しよう。『連合』はもう産業報国会になつてしまった。

国鉄清算事業団闘争は、中労委の「和解案」が出されようとしている。われわれが問われているのは「和解案」を拒否し、原職奪還まで闘争を続けていくことである。御用組合のJR連合、JR総連を解体・一掃し、国鉄労働者が安心して働ける労働条件を確立することこそ、反合・運転保安への道だ。JR当局の第二の「分割・民営化」攻撃を突き崩し、国鉄労働運動・闘う動労の再建を勝ちとらなければならない！

